

## サイドスカート 取付要領書

■ GRAN BLAZE

品番：D2611-63110-XX / MSD44-48003/4

■ AVANT EMOTIONAL

品番：D2611-63210-XX / MSD44-48005/6

設定型式:MXUA8#/AXUH8#/AXUP85 設定グレード:全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

本書は、サイドスカートの取付要領について記載してあります。

取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

本製品とサイドウェルカムイルミを同時装着する場合は、先にサイドウェルカムイルミの取り付けを行なって下さい。

(3)アウターパネルの仮組、(5)取付に記載の取り付け位置のご注意を必ず確認して取り付けを行なってください。

### 取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。  
(PACプライマーN-200、PACプライマーK-500を本品に添付)

**(重要)** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。

**(重要)** 両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。

- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、直ちにホワイトガソリンやIPA等で完全に拭き取って下さい。


■ ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、ホワイトガソリンやIPA等で脱脂をきちんと行なって下さい。

**(重要)** 両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N(5kgf)

**(重要)** フェンダーアーチ部等のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

### 取り付け完了後の点検・注意事項

- サイドスカートが、車両ロッカーモールに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、サイドスカート及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。  
(両面テープの剥がれ、車両とサイドスカートとの間に隙間が発生するおそれがあります。)

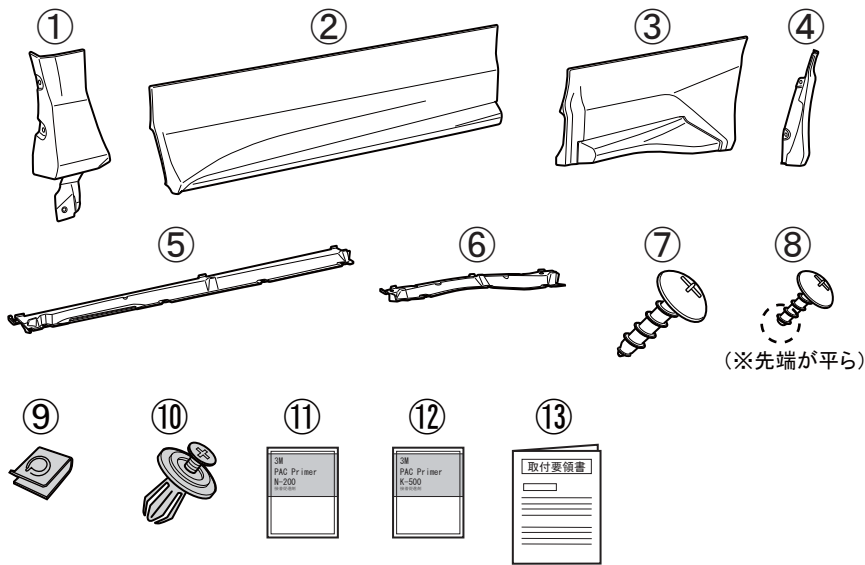
 **アドバイス**…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

# ハリアー モデルスタ バージョン

サイドスカート

■GRAN BLAZE  
品番：D2611-63110-XX / MSD44-48003/4  
■AVANT EMOTIONAL  
品番：D2611-63210-XX / MSD44-48005/6

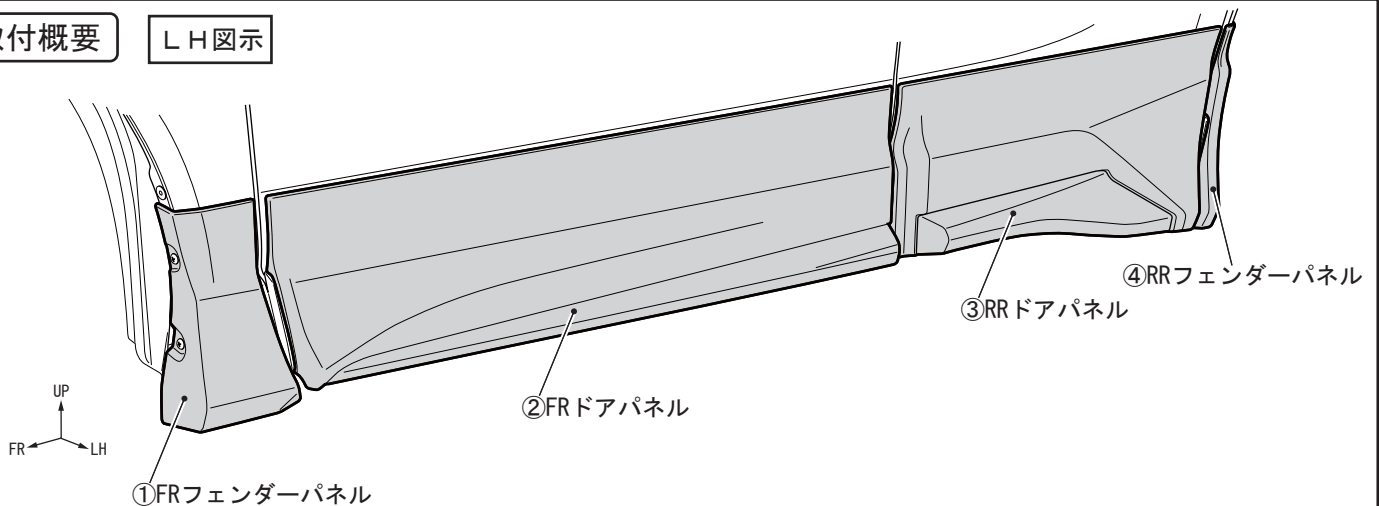
## 構成部品



No.	品名	個数
①	FRフェンダーパネル (RH/LH)	各1
②	FRドアパネル (RH/LH)	各1
③	RRドアパネル (RH/LH)	各1
④	RRフェンダーパネル (RH/LH)	各1
⑤	FRドアインナー (RH/LH)	各1
⑥	RRドアインナー (RH/LH)	各1
⑦	タッピングスクリュー (M6×16)	4
⑧	Bタッピングスクリュー (M4×12)	1 4
⑨	Uナット (M4)	1 4
⑩	スクリベット	1 8
⑪	PACプライマー (N-200)	1
⑫	PACプライマー (K-500)	1
⑬	取付要領書	1

## 取付概要

LH図示

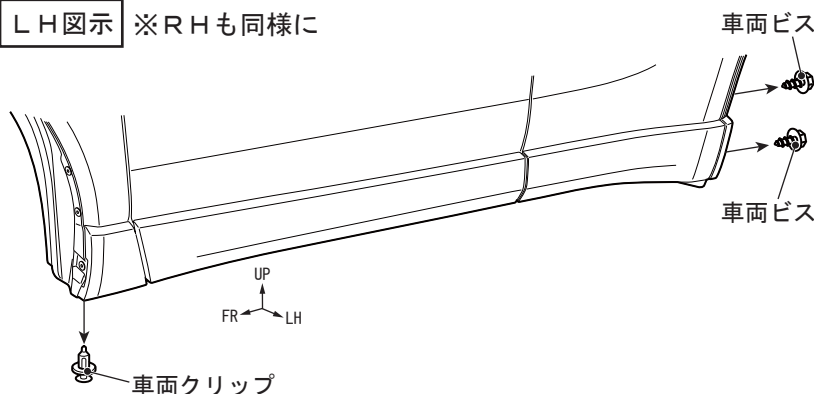


# 取付手順

※以下の手順はLH側を図示しています。RH側も同様に行ってください。

## (1) 部品の取り外し

LH図示 ※RHも同様に



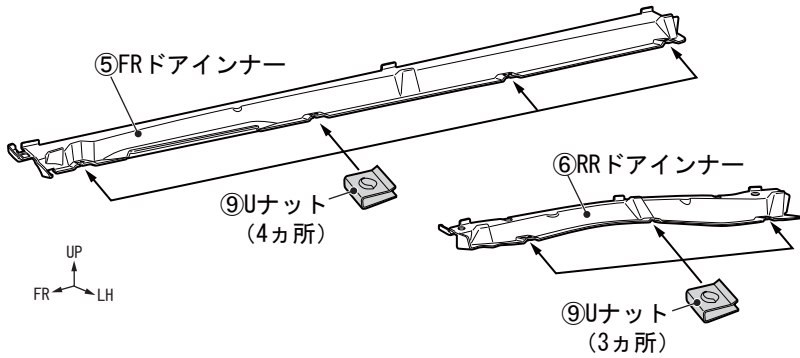
1. 車両FRフェンダー部の車両クリップ、RRフェンダー部の車両ビスを取り外す。(左図参照)

### アドバイス

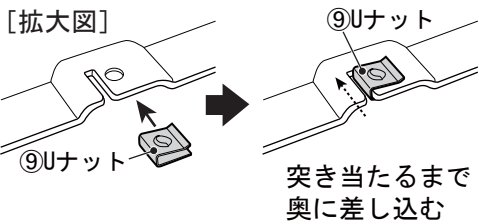
取り外した車両クリップ、ビスは再使用しますので紛失しない様ご注意ください。

## (2) インナーパーツの仮組

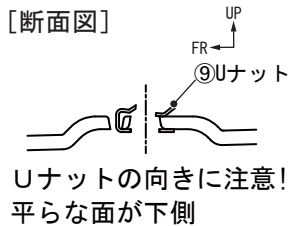
LH図示 ※RHも同様に



[拡大図]



[断面図]

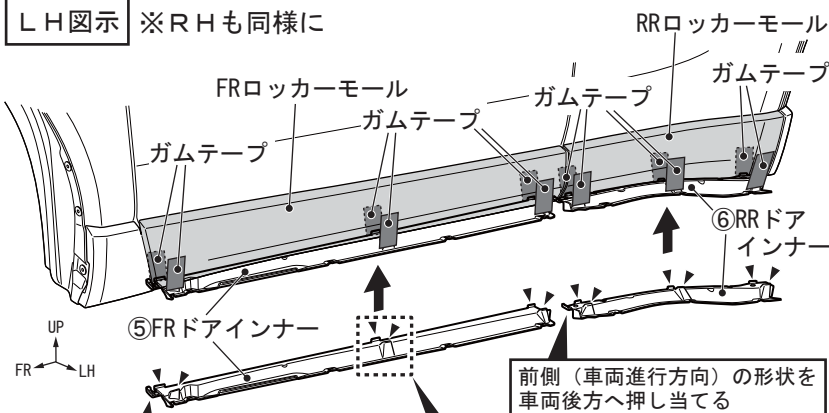


1. ⑤FRドアインナーと⑥RRドアインナーに⑨Uナットを取り付ける。  
(左図参照) (FR 4カ所、RR 3カ所)

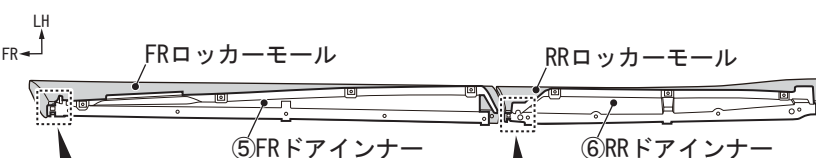
## ⚠ 注意

※⑤FRドアインナーと⑥RRドアインナーは取付穴開け治具の役割を持っているため、図示の位置で確実に位置出しを実施して下さい。(5)取付で、円錐状凹部の位置で穴開けを行いません。

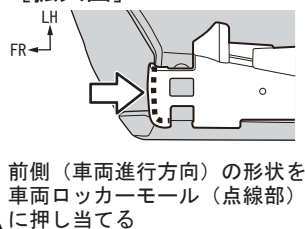
LH図示 ※RHも同様に



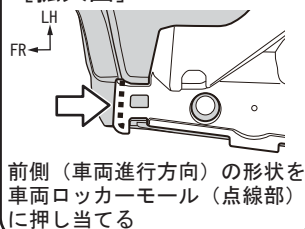
[下面図]



[拡大図]

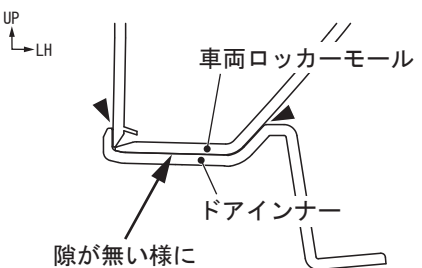


[拡大図]



2. ⑤FRドアインナーと⑥RRドアインナーの前側(車両進行方向)の形状を車両FRロッカーモールとRRロッカーモールに合わせ車両後方へ押し当てて、左右を(左図 ▼ ▶)の位置でガイドに合わせ、車両ロッカーモール下面とドアインナー上面に隙が無い様にゴムテープ等で仮固定する。  
(左図参照)

[断面図]

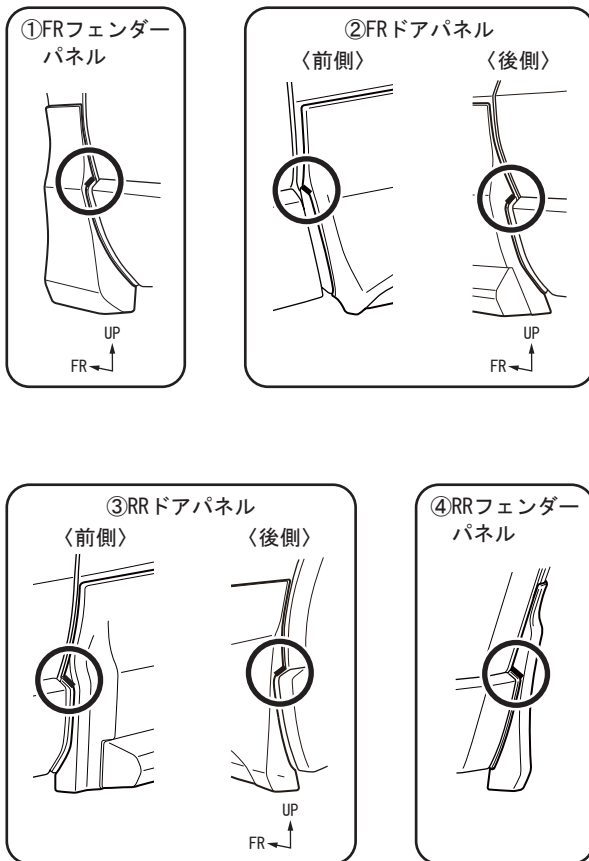


▼ ▶のガイドに車両ロッカーモールを合わせ車両ロッカーモール下面とドアインナー上面に隙が無い様にゴムテープ等で仮固定する

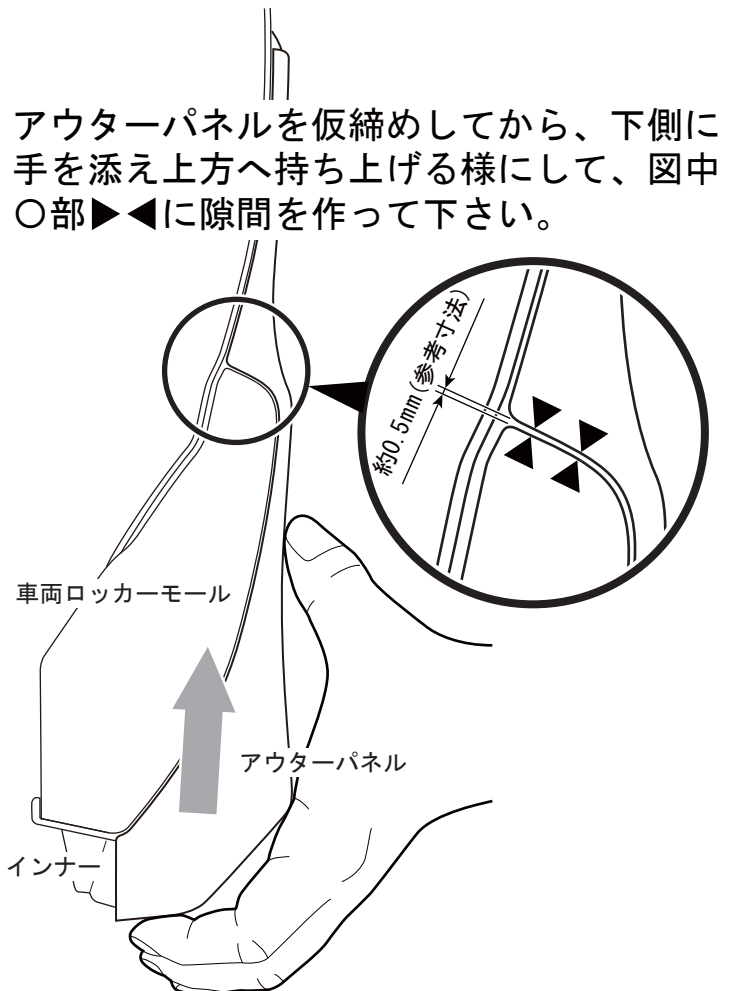
## 取り付け位置のご注意

アウターパネル側面端末(下図○部)と車両との間に、隙間(約0.5mm参考寸法)を作る様に位置を合わせて取り付けを行なって下さい。  
アウターパネル側面端末が車両ロッカーモールに接触した位置で取り付けした場合、アウターパネルの形状が車両形状に沿うことが出来ずに両面テープに浮きが発生し剥がれの要因となる事があります。

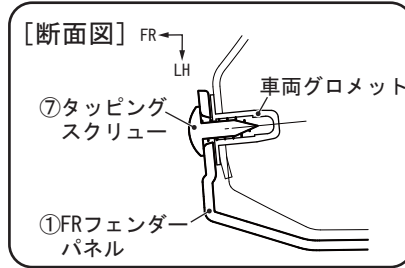
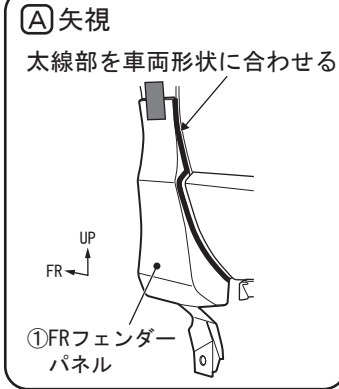
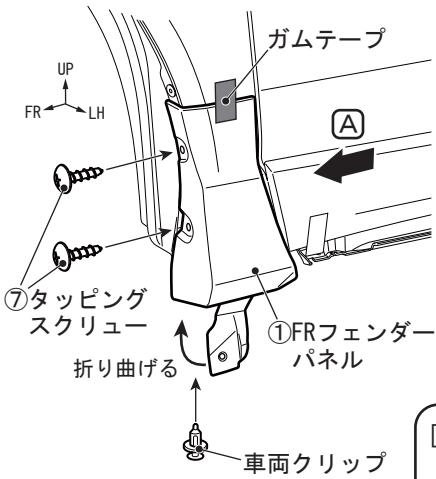
### 隙間を作る場所



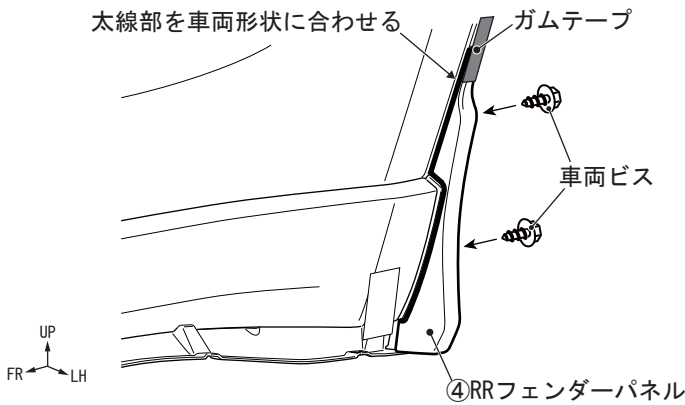
### 隙間が無い場合の隙間の作り方



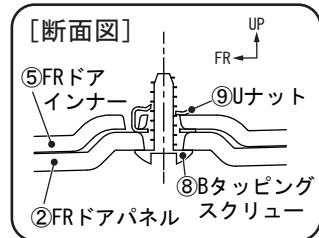
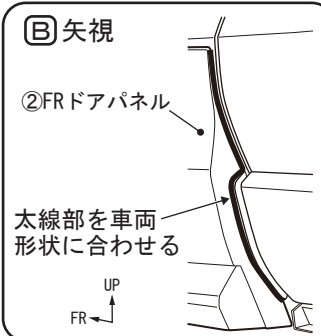
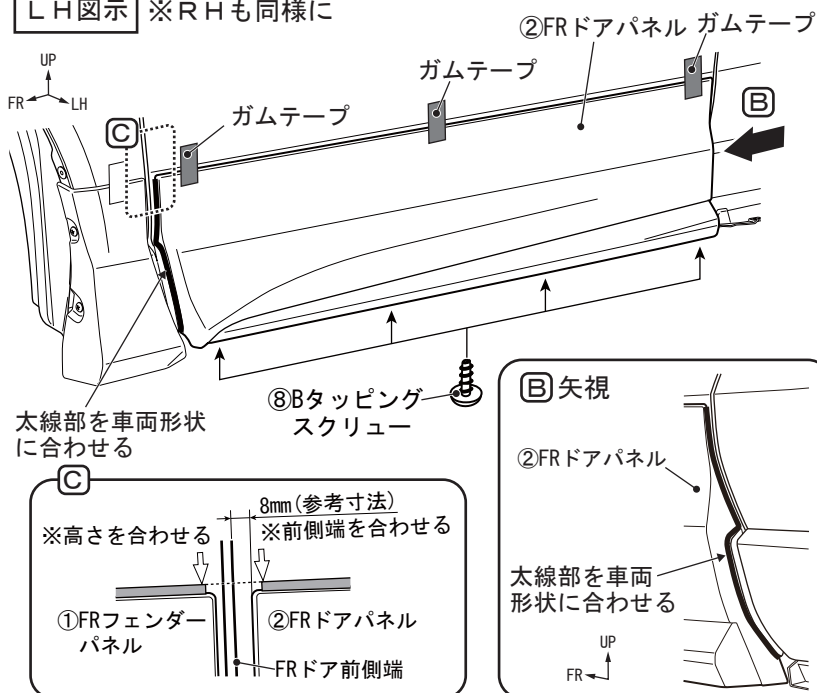
LH図示 ※RHも同様に



LH図示 ※RHも同様に



LH図示 ※RHも同様に



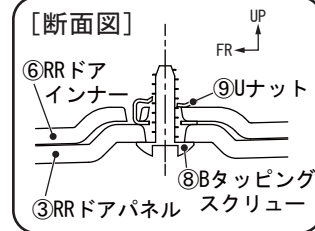
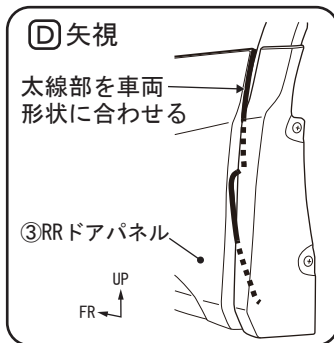
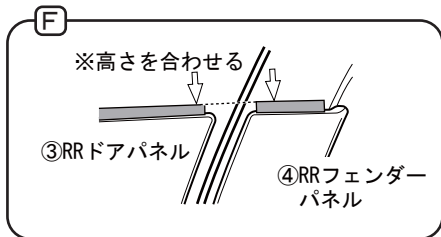
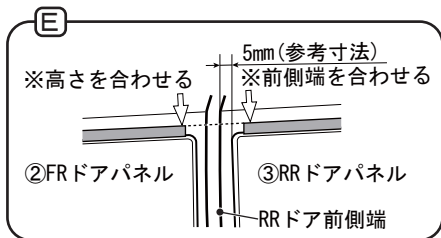
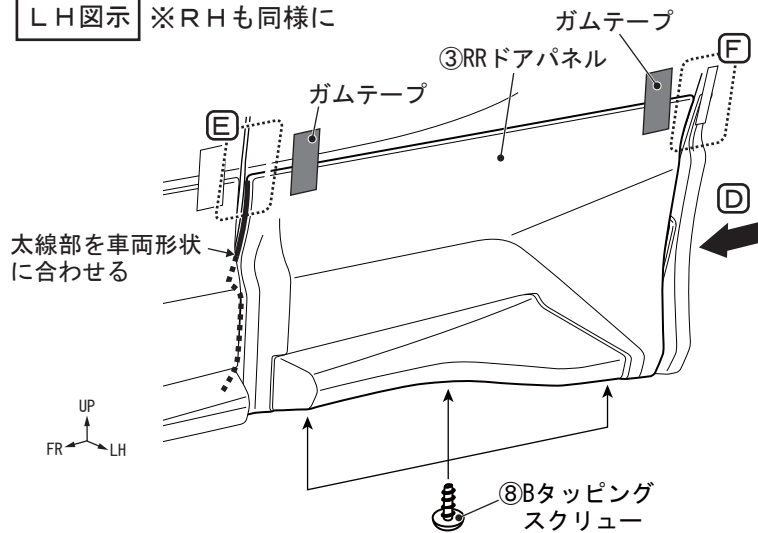
- ①FRフェンダーパネルを車両ロッカーモールに載せる様に被せ、下面のブラケットを車両下面へ折り曲げて(1)-1で取り外した車両クリップ(1カ所)を再使用して取り付け、タイヤハウス面を車両へ押し付けて、車両グロメットに⑦タッピングスクリュー(2カ所)で仮締めする。  
側面末端(A矢視図参照)と車両形状が合っている事を確認して上部をガムテープ等で仮固定する。  
(左図参照)

- ④RRフェンダーパネルを車両ロッカーモールに載せる様に被せ、タイヤハウス面を車両へ押し付けて、(1)-1で取り外した車両ビスを再使用して仮締めする。(2カ所)  
側面末端(左図太線部)と車両形状が合っている事を確認して上部をガムテープ等で仮固定する。  
(左図参照)

- ②FRドアパネルを車両ロッカーモールに載せる様に被せ、下面を⑤FRドアインナーの⑨Uナットに⑧Bタッピングスクリューで仮締めする。(4カ所)

前後の側面末端(左図太線部、B矢視図参照)と車両形状が合っている事を確認して②FRドアパネル前側端末をFRドア前端から8mm(参考寸法)の位置(図C参照)に合わせ、エンドモール上端の高さを①FRフェンダーパネルと合わせてガムテープ等で仮固定する。  
(左図参照)

LH図示 ※RHも同様に

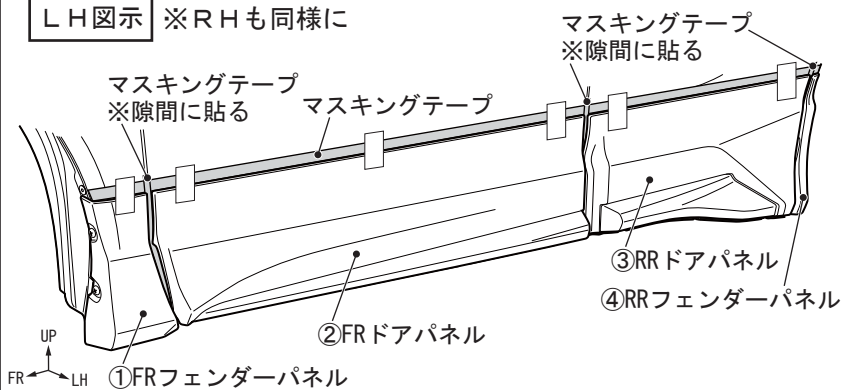


4. ③RRドアパネルを車両ロッカーモールに載せる様に被せ、下面を⑥RRドアインナーの⑨Uナットに⑧Bタッピングスクリューで仮締めする。(3カ所)

前後の側面端末（左図太線部、**D** 矢視図参照）と車両形状が合っている事を確認して③RRドアパネル前側端末をRRドア前端から5mm（参考寸法）（**E** 参照）に合わせ、エンドモール上端の高さを②FRドアパネル、④RRフェンダーパネルと合わせて（**F** 参照）ゴムテープ等で仮固定する。（左図参照）

#### (4) 脱脂とプライマー塗布

LH図示 ※RHも同様に



- ①FRフェンダーパネル、②FRドアパネル、③RRドアパネル、④RRフェンダーパネルのモール上端及び各パネル間の隙間に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

(左図参照)

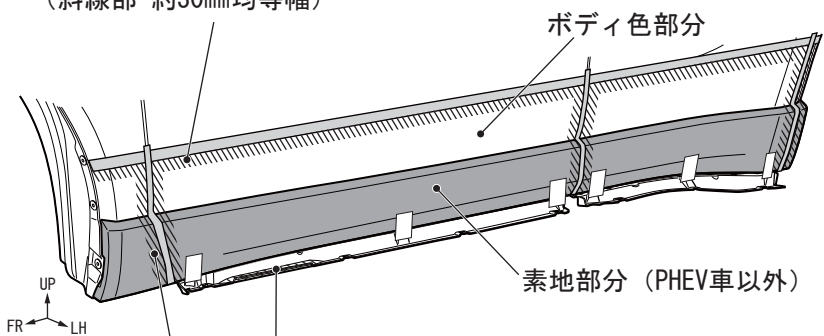
※各パネル上端の高さ位置出しと脱脂及びプライマーがはみ出さない様にする為、正確にマスキングテープを貼り付けて下さい。

- ①FRフェンダーパネル、②FRドアパネル、③RRドアパネル、④RRフェンダーパネルを取り外す。

※⑤FRドアインナー、⑥RRドアインナーの位置がズレ無い様に注意して⑧Bタッピングスクリューを外して下さい。

LH図示 ※RHも同様に

脱脂及び①PACプライマーN-200 (赤袋) 塗布範囲  
(斜線部 約30mm均等幅)



脱脂及び②PACプライマーK-500 (青袋) 塗布範囲  
(斜線部 約30mm均等幅)

※PHEV車は①PACプライマーN-200 (赤袋) 塗布

- 両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) を一方向に拭いて脱脂し、ボディ色部分に①PACプライマーN-200、素地部分に②PACプライマーK-500を塗布する。

※PHEV車は①PACプライマーN-200を塗布して下さい。

(左図参照)



#### アドバイス

- PACプライマーは特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、ホワイトガソリンやIPA等で拭き取して下さい。
- PACプライマー塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。
- PACプライマーは、必ず塗布部位によって使い分けてください。

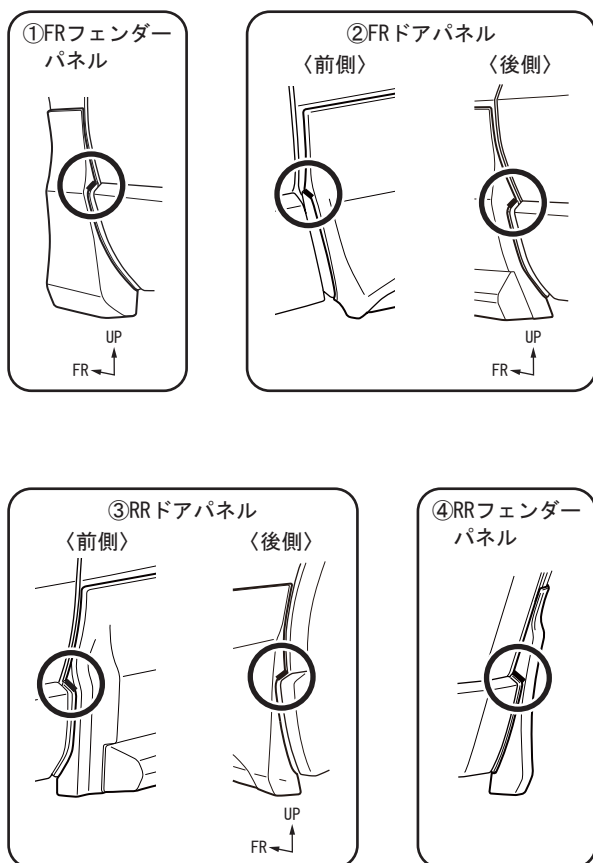
■ 塗装部分：N-200 (赤袋)

■ 素地部分：K-500 (青袋)

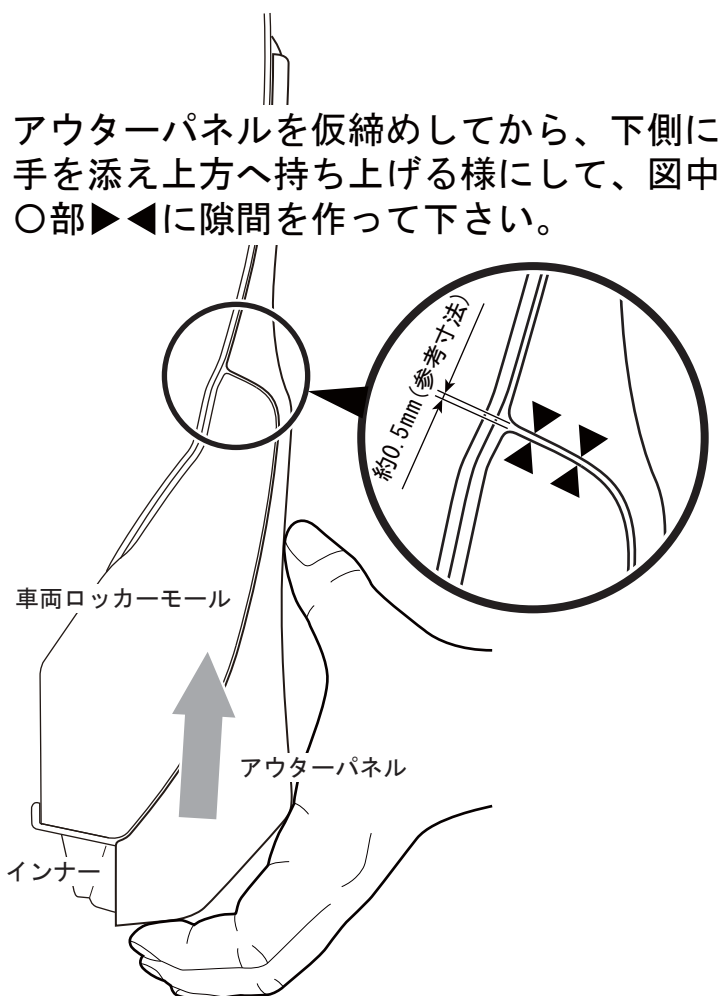
## 取り付け位置のご注意

アウターパネル側面端末(下図○部)と車両との間に、隙間(約0.5mm参考寸法)を作る様に位置を合わせて取り付けを行なって下さい。  
アウターパネル側面端末が車両ロッカーモールに接触した位置で取り付けした場合、アウターパネルの形状が車両形状に沿うことが出来ずに両面テープに浮きが発生し剥がれの要因となる事があります。

### 隙間を作る場所

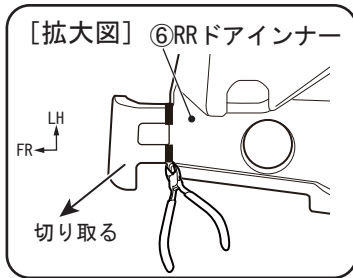
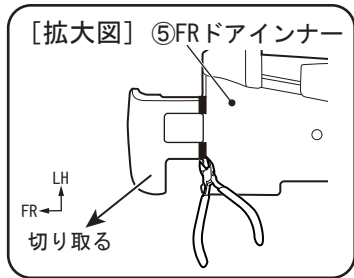
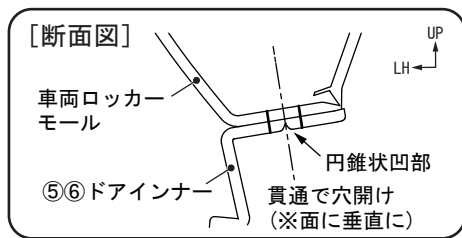
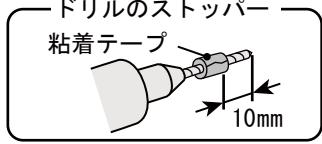
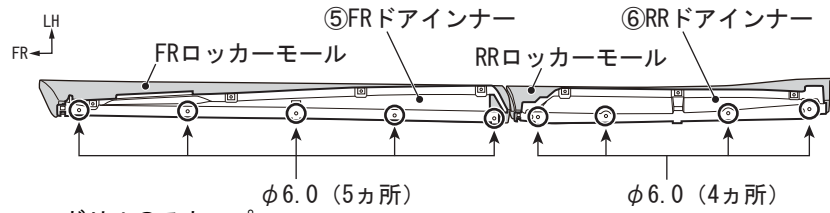


### 隙間が無い場合の隙間の作り方

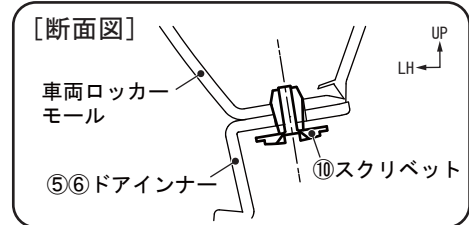
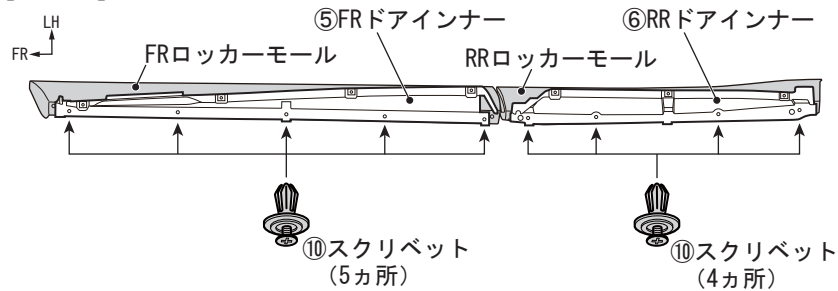


LH図示 ※RHも同様に

[下面図]



[下面図]



1. ⑤FRドアインナー、⑥RRドアインナーの円錐状の凹部の位置(左図○印部)で、車両ロッカーモールと一緒に貫通で下穴をφ3.0、本穴をφ6.0で開ける。(左図参照)

(⑤FRドアインナー 5カ所、⑥RRドアインナー 4カ所)

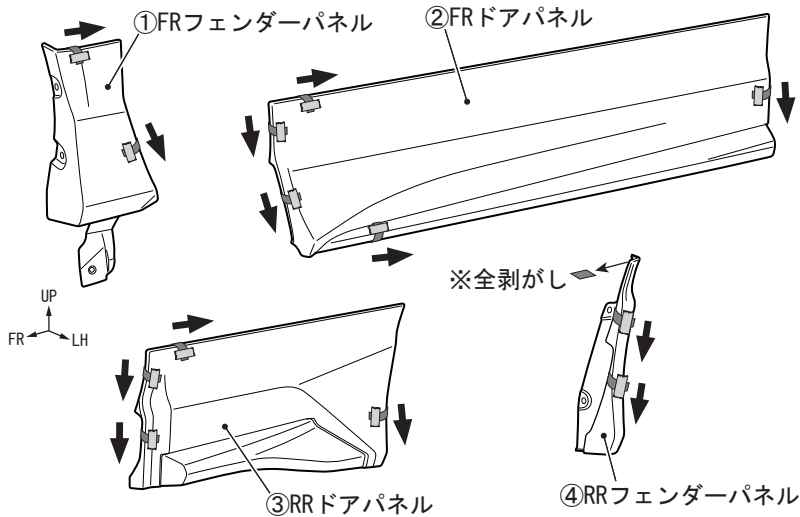
※穴開けの際、ドリルの刃にストッパーとなるように粘着テープを巻き付けて下さい。

※穴開け後、⑤FRドアインナー、⑥RRドアインナーのガムテープを全て剥がし、前側の位置決め形状をニッパー等で切り取り、バリの除去を行なって下さい。

2. ⑤FRドアインナー、⑥RRドアインナーを⑩スクリベット(⑤FRドアインナー 5カ所、⑥RRドアインナー 4カ所)で車両ロッカーモールに取り付ける。(左図参照)

LH図示 ※RHも同様に

→ 矢印は離型紙を剥がす方向を示しています。

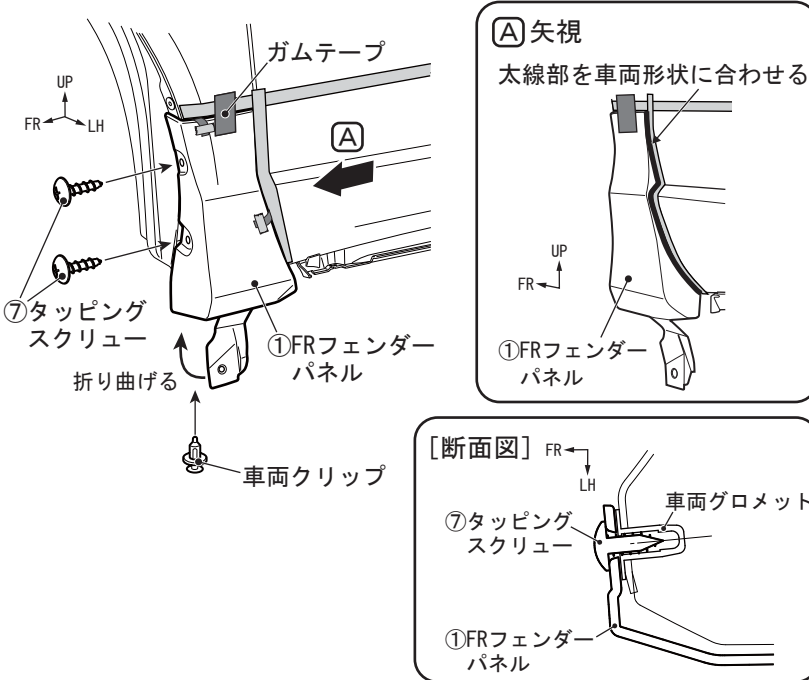


3. ①FRフェンダーパネル、②FRドアパネル、③RRドアパネル、④RRフェンダーパネルの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

(左図参照)

- ・ ①FRフェンダーパネル 2カ所
- ・ ②FRドアパネル 5カ所
- ・ ③RRドアパネル 4カ所
- ・ ④RRフェンダーパネル 2カ所、全剥がし 1カ所

LH図示 ※RHも同様に

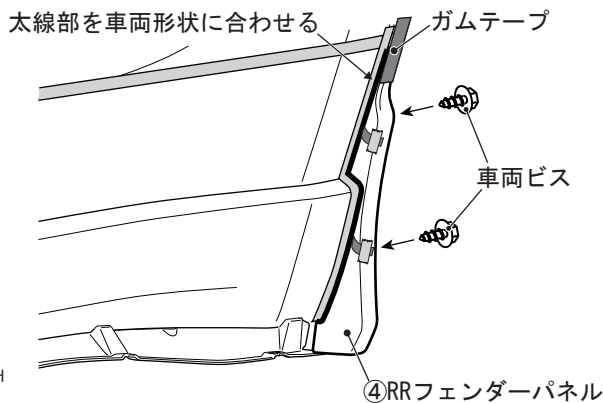


4. ①FRフェンダーパネルを車両ロッカーモールに載せる様に被せ、下面のブラケットを車両下面へ折り曲げて(1)-1で取り外した車両クリップ (1カ所) を再使用して取り付け、タイヤハウス面を車両へ押し付けて、車両グロメットに⑦タッピングスクリュー (2カ所) で仮締めする。

側面端末 (A) 矢視図参照) と車両形状が合っている事を確認して上部をゴムテープ等で仮固定する。

(左図参照)

LH図示 ※RHも同様に

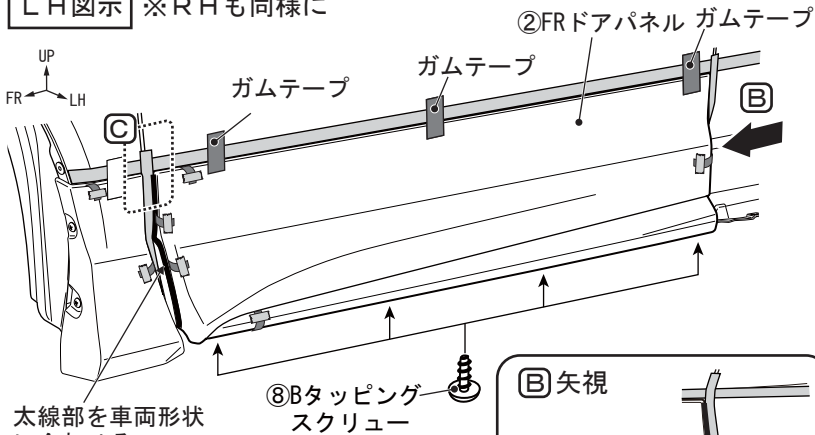


5. ④RRフェンダーパネルを車両ロッカーモールに載せる様に被せ、タイヤハウス面を車両へ押し付けて、(1)-1で取り外した車両ビスを再使用して仮締めする。(2カ所)

側面端末 (左図太線部) と車両形状が合っている事を確認して上部をゴムテープ等で仮固定する。

(左図参照)

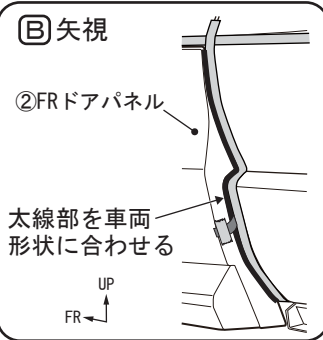
LH図示 ※RHも同様に



太線部を車両形状に合わせる

⑧Bタッピング  
スクリュー

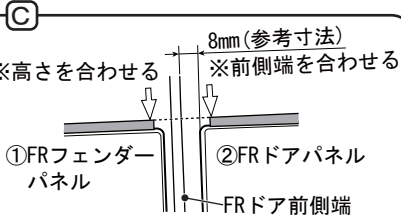
②FRドアパネル



②FRドアパネル

太線部を車両形状に合わせる

UP  
FR



※高さを合わせる ※前側端を合わせる

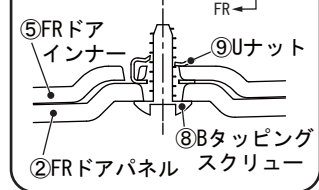
①FRフェンダー  
パネル

②FRドアパネル

FRドア前側端

8mm(参考寸法)

[断面図]



⑤FRドア  
インナー

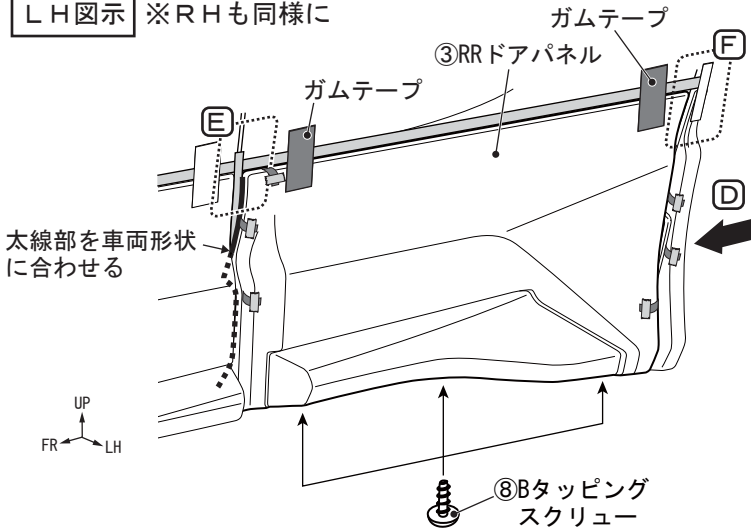
⑨Uナット

⑧Bタッピング  
スクリュー

②FRドアパネル

前後の側面端末（左図太線部、②矢視図参照）と車両形状が合っている事を確認して②FRドアパネル前側端末をFRドア前端から8mmの位置（図②参照）に合わせ、エンドモール上端の高さを①FRフェンダーパネルと合わせてゴムテープ等で仮固定する。（左図参照）

LH図示 ※RHも同様に



太線部を車両形状に合わせる

⑧Bタッピング  
スクリュー

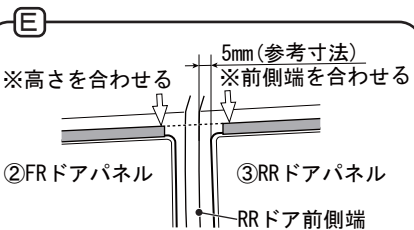
③RRドアパネル

③RRドアパネル

太線部を車両形状に合わせる

③RRドアパネル

UP  
FR



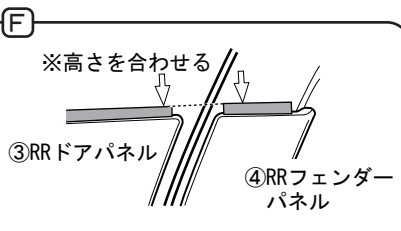
※高さを合わせる ※前側端を合わせる

②FRドアパネル

③RRドアパネル

RRドア前側端

5mm(参考寸法)

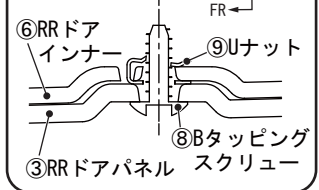


※高さを合わせる

③RRドアパネル

④RRフェンダー  
パネル

[断面図]



⑥RRドア  
インナー

⑨Uナット

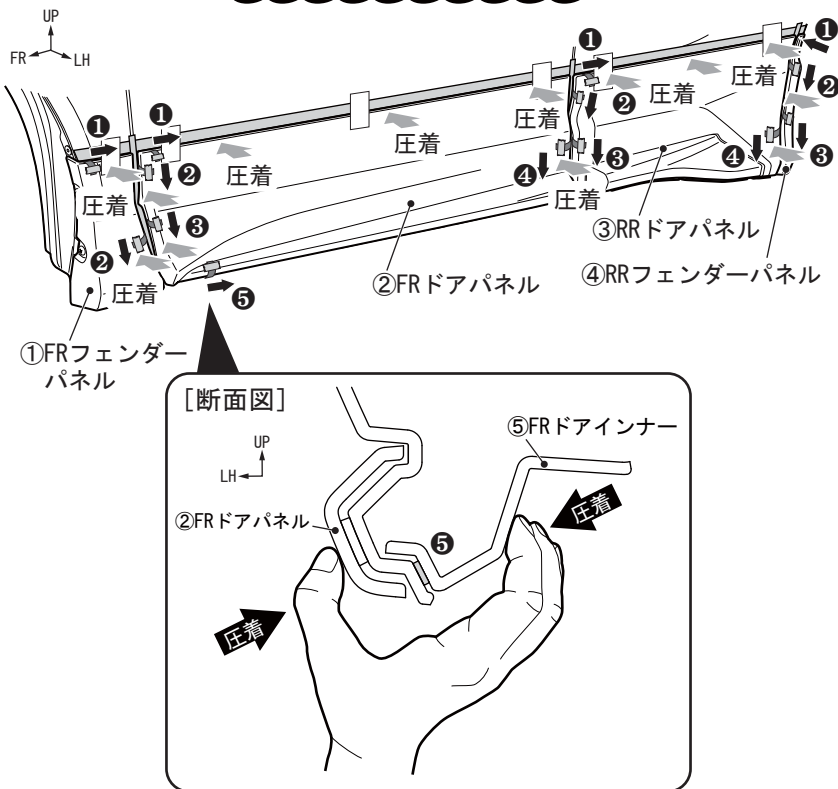
⑧Bタッピング  
スクリュー

③RRドアパネル

前後の側面端末（左図太線部、④矢視図参照）と車両形状が合っている事を確認して③RRドアパネル前側端末をRRドア前端から5mm（参考寸法）（図④参照）に合わせ、エンドモール上端の高さを②FRドアパネル、④RRフェンダーパネルと合わせて（図④参照）ゴムテープ等で仮固定する。（左図参照）

LH図示 ※RHも同様に

※離型紙を引き抜く順序



8. 取り付け位置が変わらない様に①FRフェンダーパネル→②FRドアパネル→③RRドアパネル→④RRフェンダーパネルの順に取り付け、離型紙を①から順に矢印の方向に引き抜き、圧着する。

※①FRフェンダーパネル、②FRドアパネル、③RRドアパネル、④RRフェンダーパネルの取付位置、高さ、バランスを再確認して離型紙を引き抜いて下さい。

9. RH側も同様の手順にて取り付ける。

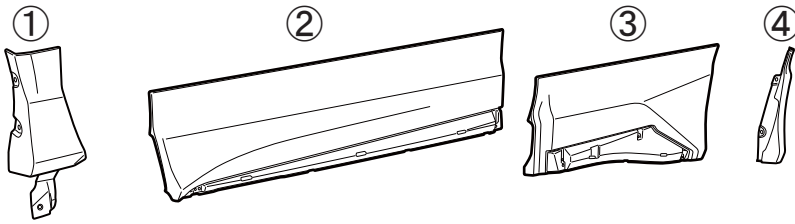
10. マスキングテープを全て剥がす。

11. 取り付けした両面テープ貼り付け位置を再圧着する。

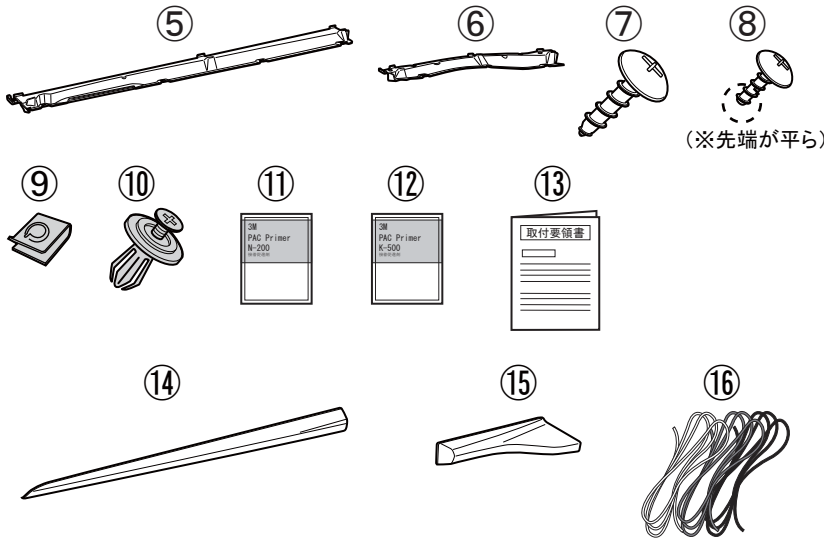
12. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めを本締めする。

# サイドスカート素地品の塗装手順

## 構成部品



※⑭FRドアガーニッシュ (RH/LH) ⑮RRドアガーニッシュ (RH/LH)は、  
②FRドアパネル (RH/LH) ③RRドアパネル (RH/LH)に、⑧Bタッピング  
スクリュー (M4×12)で、仮固定されています。塗装前に外して下さい。  
塗装後の取り付けに必要ですので、紛失されない様注意してください。



(※先端が平ら)

No.	品名	個数
①	FRフェンダーパネル (RH/LH)	各1
②	FRドアパネル (RH/LH)	各1
③	RRドアパネル (RH/LH)	各1
④	RRフェンダーパネル (RH/LH)	各1
⑤	FRドアインナー (RH/LH)	各1
⑥	RRドアインナー (RH/LH)	各1
⑦	タッピングスクリュー (M6×16)	4
⑧	Bタッピングスクリュー (M4×12)	2 4
⑨	Uナット (M4)	1 4
⑩	スクリベット	1 8
⑪	PACプライマー (N-200)	1
⑫	PACプライマー (K-500)	1
⑬	取付要領書	1
※⑭	FRドアガーニッシュ (RH/LH)	各1
※⑮	RRドアガーニッシュ (RH/LH)	各1
⑯	エンドモール	ライトグレー:2 グレー:2 ブラック:2

## ⑯エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1G3	グレーメタリック	ブラック
1K9	スレートグレーメタリック	ブラック
202	ブラック	ブラック
219	プレシャスブラックパール	ブラック
3T3	センシユアルレッドマイカ	ブラック
4X1	スチールブロンドメタリック	グレー
8X8	ダークブルーメタリック	ブラック

## 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

※本製品の素材は>PP<です。

4. 上塗り塗装を行なう。  
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥。  
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

## メッキパーツの取り付け作業

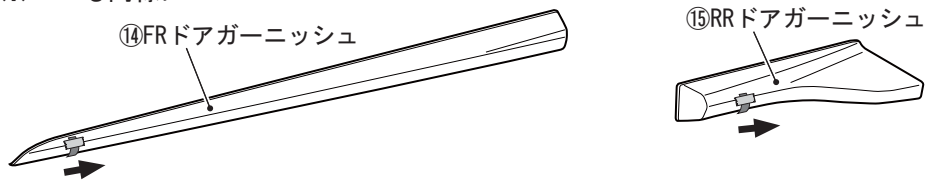
1. 塗装完了後、②FRドアパネル ③RRドアパネルと⑭FRドアガーニッシュ ⑮RRドアガーニッシュの両面テープ貼り付け位置と形状を確認し、汚れ、ゴミ、ほこり等をウエスで取り除き、脱脂してから⑩PACプライマーN-200を塗布する。

### アドバイス

- ・⑩PACプライマーN-200はサイドスカートパネル取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・⑩PACプライマーN-200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取って下さい。
- ・⑩PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

2. ⑭FRドアガーニッシュ ⑮RRドアガーニッシュの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

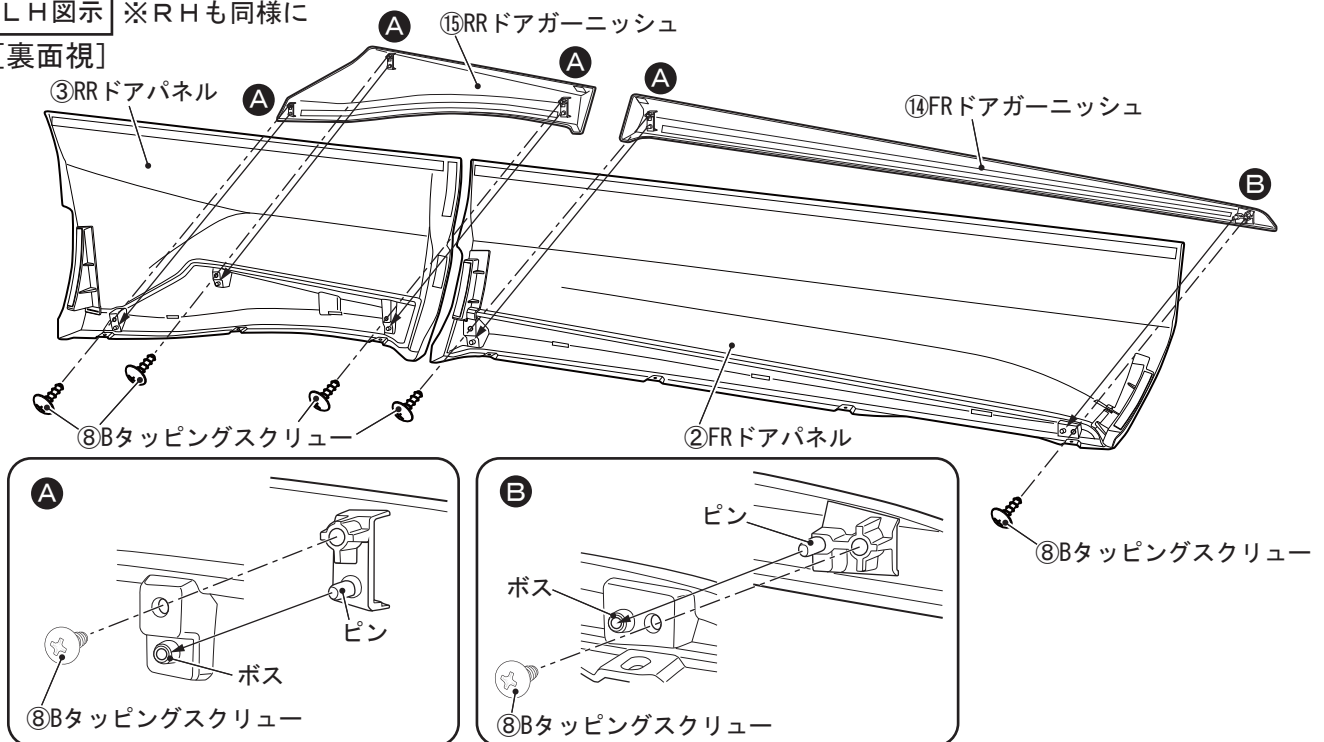
LH図示 ※RHも同様に



3. ⑭FRドアガーニッシュ ⑮RRドアガーニッシュ取付穴部のピンを②FRドアパネル ③RRドアパネルのボスに差し込み、⑧Bタッピングスクリューで仮締めする。(FR: 2カ所 RR: 3カ所)

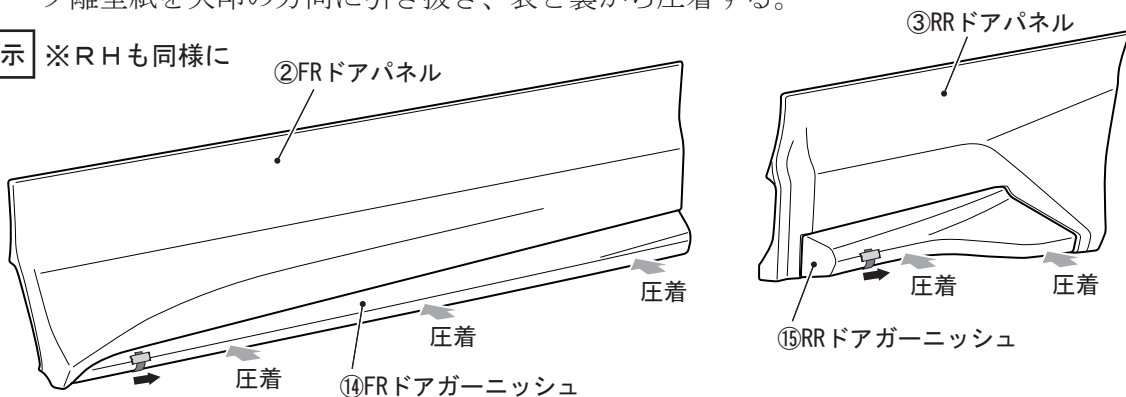
LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]



4. 両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、表と裏から圧着する。

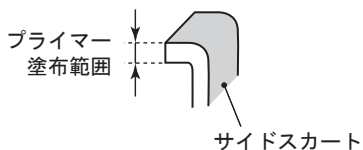
LH図示 ※RHも同様に



5. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めに本締めする。(FR: 2カ所 RR: 3カ所)

1. 塗装完了後、⑯エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑫PACプライマーK-500を塗布する。

**PACプライマーK-500塗布範囲**



**アドバイス**

- ・⑫PACプライマーK-500はサイドスカートパネル取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・⑫PACプライマーK-500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取って下さい。
- ・⑫PACプライマーK-500塗布後は、常温で**10分間以上**放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑯エンドモールを貼り付ける。

**アドバイス**

- ・エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。**絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。**
- ・エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- ・貼り付け後、十分に圧着して下さい。

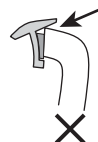
奥まで押し込む



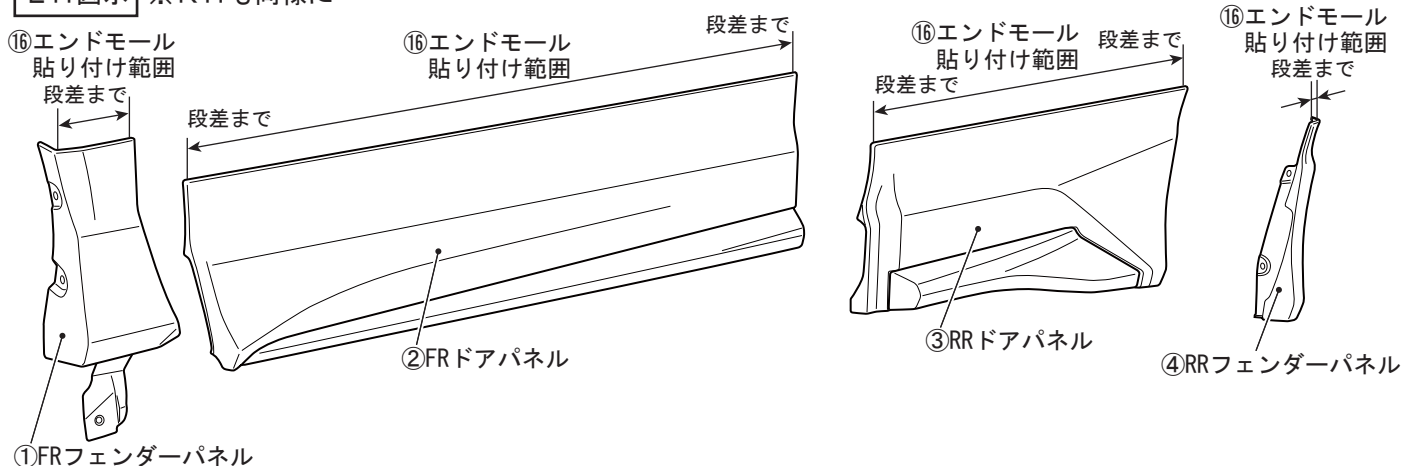
隙間が空いている



傾いている



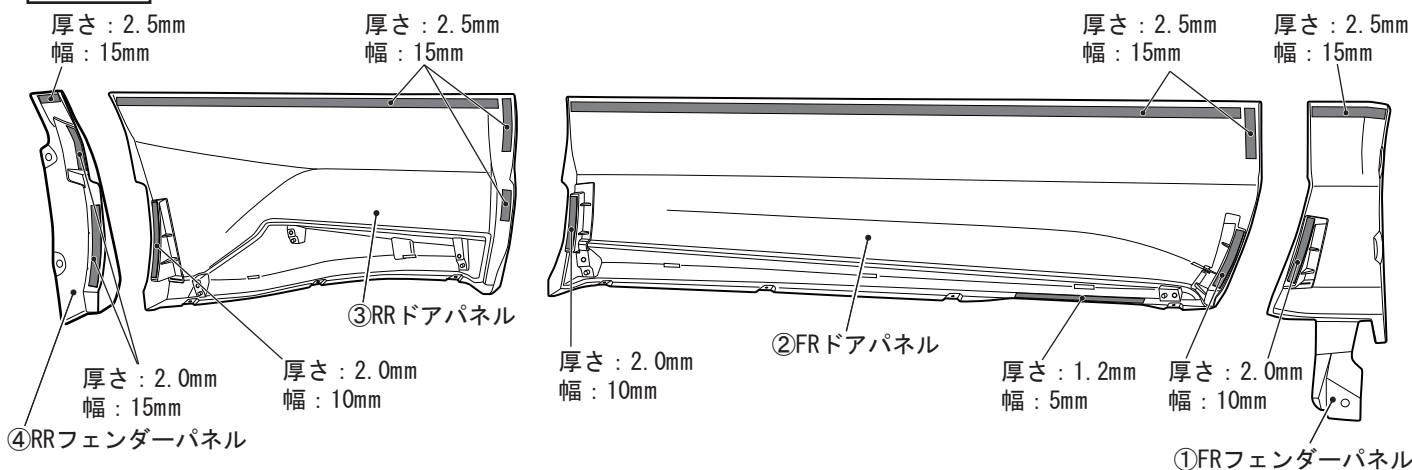
**LH図示 ※RHも同様に**



**補修キット両面テープ貼り付け**

1. 補修キットを使用してサイドスカートパネルの再取付を行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。(元の位置と同様に貼り付けて下さい。)

**LH図示 ※RHも同様に**



# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

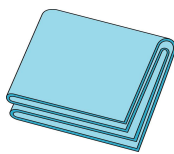


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



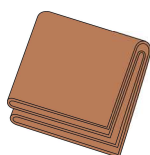
合成セーム皮



脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス




WET 用  
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)  
※純度 100%推奨

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

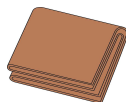


水拭き用バケツ



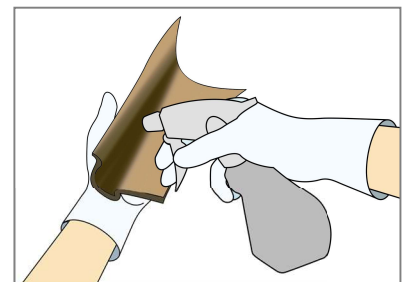
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

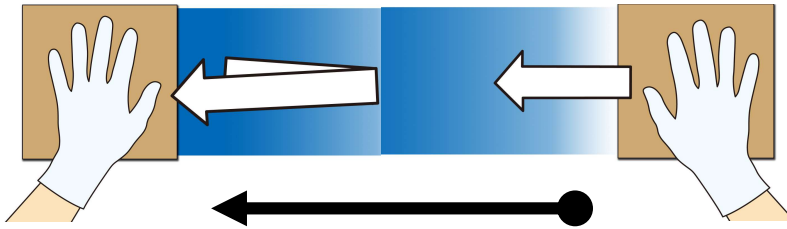
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1ブロック60cm程度として両手にWETとDRYのウエスを交互に持ち  
WET⇒DRYの順に拭き上げて脱脂する。

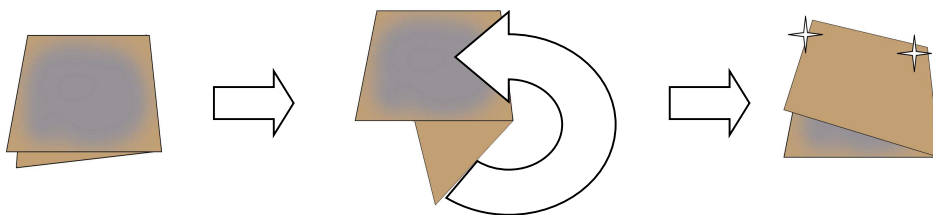
範囲が広い場合は1ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に3~5ブロック毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に  
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に  
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に  
したがって行ってください。